

日芸みやぎ

日本大学芸術学部校友会
宮城江古田会 ニュース

母校の名で繋がる縁 広がる輪

第1回 日芸コンサート開催

「日芸コンサート」。今までにどの地域でもこんな素晴らしいタイトルのコンサートはありませんでした。もともと狙ったわけではなく、他の音楽大学OBが母校の名前でコンサートを開く感覚でふと付けてしまった…というのが本音です。でも、本音は真実です。私たちは「日芸」のOBなのです。

3月19日(土)、仙台市宮城野区文化センターパトナホールにて、このコンサートは行われました。ほとんどが音楽学科で私だけが放送学科。私は朗読のステージ(ピアノは舞石美和さん)と司会を務めました。なるべくここだけ別世界にならないように…そして皆さんの個性をそのままお届けできるように、と原稿を考えました。

ご出演の皆さんは「日芸」の音楽学科らしくトークも個

長崎宏美さん、トランペットの花澤幸恵さんが参加しました。

アンケートには、「全体的にいろいろな楽器があり楽しめた」「知っている曲があり楽しかった」「子供と一緒に



来たので曲の長さがちょうどよかった」「ユニークな構成だった」など、おおむね好評だったようです。

来年4月15日(土)には同会場で「第2回日芸コンサート」が行われる予定。どんなバージョンアップがなされるのか私も楽しみにしています。(佐藤 円)



性的！やはりひと味違った自己アピール

の技があると思いました。トップバッターの星久美子先輩は客席の笑いを誘い場の空気を和ませて平田典子さんに繋ぎ、平田さんもリラックスした空気の中、誠実にフルートと向き合ったステージでした。ドレスの上からでもはっきり分かる大きなおなかを抱えつつ迫力満点の「幻想即興曲」を演奏した高橋咲千子さんの頑張りも目を見張るものがありました。咲千子さんはほとんどの器楽演奏の伴奏も担当。ご本人よりも周りの方が体調を心配していたのですが、4月に無事出産され、演奏活動も6月には再開されたとのことです。東京からもフルートの

出演

ソプラノ	星久美子	音楽S51年度卒
ピアノ	高橋咲千子	大学院音楽H21年度卒
フルート	平田典子	音楽H5年度卒
フルート	長崎宏美	音楽H19年度卒
トランペット	花澤幸恵	音楽H19年度卒
ピアノ	舞石美和	音楽H3年度卒
音声詩人	佐藤 円	放送H4年度卒



左から佐藤、舞石、平田、高橋、星、長崎、花澤(敬称略)

会員の活躍

にじいろクレヨン活動5周年迎えました

柴田滋紀・美術H11年度卒

9月19日(月・祝)、「にじいろまつり2016」～レインボーブリッジを駆け抜けろ～が開催されました。東日本大震災から五年。震災直後から始まった「にじいろクレヨン活動」は、子どもたちの気持ちに寄り添いながら成長を見守る様々な方々に支えられてここまで歩んできました。五年の節目を迎え、これまでを振り返り、未来を語り合い、感謝を伝える機会として「にじいろまつり」を計画しました。

当日は朝から塚崎先輩にお越しいただき、会場設営も手伝っていただきました。会場は「のくのくハウス」と「にじいろひろば」がある千の杜学びの二カ所に設けました。10時30分からのオープニングでは子どもたちが進行役を務め、私おんちゃんしょうの挨拶の他に、仮設住宅の訪問活動に参加していただいた「ゆず」のお二人から届いたビデオメッセージを上映。のくのくハウスでは、子どもたちが企画したかき氷や綿あめ等の出店、お化け屋敷、未成年の主張。駐車場ではプレーパーク。にじいろひろばでは、お下がり会。千の杜では、お絵描き教室の展示会等々、楽しい企画満載でした。

当日は、時折小雨が降るあいにくの天気でしたが、561人が参加し、集まったご寄付は2万2350円、賛助会員には4名の新規申し込みをいただきました。



当日参加ができない方々からも続々とメッセージカードが届き、のくのくハウスに全て掲示、にじいろクレヨンを全国から応援して頂いている事を実感しました。特に今回は、日芸の運動部の仲間たちが映像記録係(現在プロとして東京で活躍しております)として参加してくれました。私は剣道部でしたが、合気道部(カメラマンとライター)、サッカー部(編集者)の同期の仲間が、前日のおまつり準備から撮影隊として石巻に入ってくれました。完成した映像は2016年中にはにじいろクレヨンのホームページでお披露目できることになっています。運運の仲間たちに感謝です。仲間たちもそうですが、子どもたち、保護者、地域住民、ボランティア、協力団

体の方々、そして私たちスタッフも笑顔が絶えない、交流の輪が広がる貴重な一日でした。ありがとうございました。(柴田滋紀)



お絵描き教室親子の部・陶芸ワークショップも開催まし



映像記録する日芸運動部連合会の仲間。強い絆で震災直後からサポート続けてくれている。

G7財務大臣中央銀行総裁会議に迎え花

山田留美子・放送S42年度卒

今年5月20日 財務大臣中央銀行総裁会議【G7】が仙台市秋保で開催。その前日、国際センターで大々的な歓迎レセプションが行われ、麻生大臣の控え室の迎え花を依頼されました。打ち合わせで插花場所を確認した際に、日の丸と大海原の情景が浮かび、すぐに京都の花屋に注文。茎の長いアンズリュウム、大きな葉と赤アンズリュウム、風を感じるシダ、海色のマリンドール等。当日は見たことのない数の警察と報道陣の中を案内されながら、花は明るく楽しいものにと感じました。麻生大臣と握手を交わし、その後は広い会場いっぱいの和、洋、中料理の競演に舌鼓。趣味で始めた生け花も半世紀を過ぎ、おかげでこの度のご縁を頂きました。ありが

とうございました。(華道家元池坊 引立教授 山田草女)



朗読ライブ@西荻窪 TOPOS

佐藤 円・放送H4年度卒

11月6日(日)季節はずれの暖かさと晴天に恵まれ、音声詩人佐藤 円(放送H4卒)・ピアノ弾き舞石美和(音楽H3卒)、初めての東京での朗読ライブが行われました。場所は杉並区西荻窪のアットホームなカフェTOPOS(トポス)。木のぬくもりが感じられる店内にはベヒシュタインのグランドピアノがあり、美味しいコーヒーと店主の息子さん手作りのケーキが楽しめます。朗読ライブ当日のお客様は友人が多いせいか、和やかながら厳しい視線を感じることもしばしば。ちょっと仙台とは空気が違う心地いい緊張感の中でのステージでした。久しぶりに再会した日芸卒の東京の友人



朗読とサックス 心地いいライブでした

達は、ライブ終了後さらに盛り上がったとか。ライブにはいろいろな役割がありますね。充実した1日を過ごすことができました。ありがとうございました。

追伸 私が書いた言葉遊びの本「アダンの思い」がポエムピースより出版となりました。ネット書店、お近くの書店で注文できますのでどうぞよろしくお願いいたします。(佐藤 円)



日芸卒の東京の友人達と

柳橋副会長 旭日小綬章・中小企業庁長官表彰受賞祝う会 柳橋邦彦・文芸S38年度卒

仙台螺子(株)代表取締役社長柳橋邦彦さん(宮城江古田会副会長・文芸S38年度卒)の旭日小綬章及び中小企業庁長官表彰受賞を祝う会が5月20日、国際ホテルで行われました。

旭日小綬章受章の後震災があり、今年中小企業庁長官表彰されたことでようやく祝う会開催となりました。発起人代表から受賞経緯やエピソードなどが紹介され、我が柳橋先輩のユニークな話術で会場はおおいに盛り上がっていました。

柳橋さんは仙台市議会議長など20年以上地方自治に貢献されていますが、日大芸術学部在学中は自動車部を立ち上げ初代部長を務めました。なお東北には岩手江古田会の國分一彦会長(映画S40年度卒)、宮

城江古田会の射手矢静一監事(写真S41年度卒)など歴代部長が集まっております。(桑折洋一)



アートフェスティバル東北 平成30年開催 作品・ステージ演奏 募集します

宮城江古田会は平成元年に、日本大学校友会芸術学部会として発足、再来年に30周年を迎えます。これを記念し「アートフェスティバル東北」を開催いたします。会場は市民が気軽に立ち寄れる「せんだいメディアアタック」オープンスクエアを予定しています。

前回、2008年平成20年のフェスティバルでは、東北各県江古田会、芸術学部のご協力、ジャズの演奏やトークに10グループ、絵画・写真・彫刻・工芸などに72作品が展示され、二日間で1,100人の入場者でにぎわいました。開催までおよそ

1年半です。ご参加お待ちしております。(塚崎隆夫)



宮城江古田会 平成28年度総会

7月16日

平成28年度の宮城江古田会総会・懇親会は、7月16日(土)、梅雨空の仙台市一番町「仙臺花寅」にて、野田慶人学部長、綾部東洋子校友会会長、深松勇校友会宮城県支部長をお招きして行われました。総会の部では27年度の活動報告・会計報告、28年度の活動計画や予算などが議題となり、すべて承認されました。野田学部長のご挨拶の中で、「増大号 アエラ」についてのお話がありました。「大学の底力、最強学部のサバイバル」という特集に、早稲田大政経学部、慶應大医学部、中央大法学部、同志社大神学部と並列に我が日大芸術学部が、異なる才能が会う場所として取り上げられ取材を受けたお話でした。再来年のNHK大河ドラマは「西郷どん」。原作・林真理子、脚本・中園ミホの日芸コンビが書きます。才能光る日芸



を卒業した私たち。再来年の「アートフェスティバル東北」には、その片鱗が出せるようにみなさんのご協力をお願いいたします。(酒井健樹)

熊本地震お見舞金

4月14日の夜以降、震度7や6強を観測する地震が相次いだ熊本県。日を増すごとに被害の状況が伝わってきました。思い出するのが5年前の東日本大震災、あの時は全国からボランティアやお見舞金など励まされました。当会では緊急役員会を開催し見舞金を送ることを決定、有志から寄付を頂き28日に執行しました。熊本の奥村会長より南阿蘇で旅館を営んでいる会員が一番被害が大きいと言うことで、熊本江古田会は全国からの見舞金を全てそちらに送ったと、報告がありました。(桑折洋一)

愛知江古田会設立総会 9月10日

30年近く活動していた名古屋日芸校友会。世話人代表の方が亡くなってから活動が停止していたが、平成卒業の藤田氏が本部に相談の上、20番目の江古田会として9月10日愛知江古田会が正式に発足しました。設立総会に招待され伺いましたが・・・女性の会員が多く和やかな雰囲気での船出となりました。私も同じゼミの仲間や、アメフト部(今は廃部)の後輩に出会ったりと話しの輪が広がりました。



藤田支部長、成田副支部長、土岐監査

岩手江古田会総会 10月22日

10月22日(土)第12回岩手江古田会総会が開催されました。東京から野田学部長、綾部校友会会長、宮城から私が参加し10数名の出席。総会は佐藤氏の司会で活動・予算報告・役員改選(留任)と滞りなく進められました。引き続き懇親会は盛岡市の公会堂の地下にあるレストラン多賀での食事。食にこだわる岩手江古田会らしく、歴史を感じながらの料理は大変美味しく頂きました。台風10号で大変な目に遭った岩泉町の藤原亮平氏の報告のあと、参加者一同で策(ごる)を廻し義援金を募り、本人にお渡しすることが出来ました。(桑折洋一)



宮城江古田会 新年会

平成29年 1月 23日(月)開催

宮城江古田会の新年会を右の要領で開催いたします。お誘いあわせの上ご参加ください。
個展・コンサート・出版・イベントのPRや支援要請など何でもどうぞ、お待ちしております。

日時 平成29年1月23日(月) 18:00
会場 「ひで」 Tel.022-223-7590
仙台市青葉区上杉 1-7-1 山谷ビル1F
会費 6,000円

【編集後記】 ・にじいろクレヨンの柴田さんとはご夫妻で剣道部OB。震災直後から運動部仲間が支援を続けており、学科を超えた部活・同窓の絆に感激しました。山田留美子さんは日大校友会県支部女子部会発足にも尽力頂いています。(T)・会報には芸術関わりの活動が多く寄せられますが、芸術とは直接関わりなくても、それぞれの道で頑張っている皆さん

の声・体験もお聞きたい。連絡お待ちします。(S)

発行責任者 桑折洋一
事務局 〒980-0802 仙台市青葉区二日町12-21
(有)アズシステム Tel:022-267-0894 Fax: 022-267-3798
Mail: koori@az-sys.co.jp